

E-2082

0:58

個  
分類 E 4. 1. 0. 61

三了  
平部務大臣伯島野内田君哉 敬

昭和八年五月十日附公領第一八〇 號  
武藤特命全權大使宛往信寫一通送附  
件名  
當名水電、北常朝陽進出計專圖二件

通商機關  
公領第二七七 號

昭和八年五月十日

在牛莊

領事 荒川 亮



第二編 了

紙添附

件名  
外口平電、北常朝陽進出計專圖二件

312

E-2082

0:59

公領第一八〇號

昭和八年五月十六日

在牛莊

領事 荒川 充雄

在滿洲國

特命全權大使 武藤信義 殿

宮口水電、北票朝陽進出計畫ニ關スル件

宮口水道電氣株式會社ニ於テハ今般北票及朝陽ニ於ケル電燈経営ヲ計畫シ軍部ノ諒解ヲ得小磯參謀長ヨリノ在記指令ニヨリ新京安貝業部總務司長宛願書ヲ提出スルト共ニ電力供給方ニ就キ北票煤磁公司復興委員會長（現奉山鐵路局長）岡鐸ト協議シタ

ル結果今公司設電所ヨリ電氣ノ契約成立セルカ未ル六月中ニ北票ニ於ケル工事ヲ終リ朝陽ハ高梁刈入後著工十月頃迄ニ終ラノ豫定ナリ而シテ之カ經費ハ兩地ニテ十五萬元ヲ要シ燈數亦定ハ北票一五〇朝陽三〇〇ノ予想ナルカ北票ニ方朝陽ニ方ノ人口ヲ有レ居ルノミナラス朝陽ハ赤峰、凌源、平泉、義徳ノ中間ニアリ將來相者發展ノ見込アル土地ナリトテ本事業ヲ有望視レマアリ

記

北票朝陽ノ市街電燈ハ軍事上至急必要ナルヲ直ニ安貝業部總務司長宛知アリ度

小磯參謀長

安貝業部總務司長 松島 鑑 宛

本信寫送付先 外務大臣 錦州、赤峰

綜合情報 八第五五號  
昭和八年十月二十四日

總務部 資料課 長



電燈及電球  
昭和八年八月

管口ニ於ケル電球

管口地方事務所長報

分類 Ep. 510. 52 )

管口ニ於ケル電球

(昭和八年八月號)

一、本邦品及競争品ノ輸入概況

管地ニ輸入消費セラルル電球ハ其ノ大半カ本邦品ニシテ輸入商店ニ於テ外國品取ハ品質不良、價格低廉ナル支那品ヲ見ルコトカアルカ本邦品ニ比較シテ其ノ數或僅ノテ少ク殆ト言フニ足ラナイ  
管地ノ電燈賣社ハ日清合辦管口水道電氣株式会社ニシテ日清兩方面ニ一手電燈シ、其ノ販賣電球ハ東京電氣マツダランプ及日本電氣マースランプヲ指定品トスル。最近モアリ管地ノ電球市場ハ全ク本邦品ノ獨占状態テアル、最近三箇年間ニ海路管港ニ輸入セラレタル電球數ハ左記ノ如クテアル(單位海兩)

仕出地	昭和四年	昭和五年	昭和六年
日本	三三〇	七一三	一五六七
其ノ他外國	一	一三九	二七
天津	三七一	一	六〇

口、支那品

上海

七四

七二

一〇二八

一

二四五

二四四三

右海路ニ依ル輸入ノ外ニ陸路滿鐵線ニ依テ管口驛ニ到着スルモノノリ  
 日本品ハ多ク此ノ陸路ニ依ルモノニシテ大連ヨリ到着スルモノ年々相  
 違ノ數量ニ上ツテ居ル。尙此ノ外小口ニ小包郵便ヲ以テ輸入セラルル  
 モノアリ之等陸路ニ依ル輸入數量ハ統計ノ據ルヘキモノナク不明テア  
 ル。從テ實際ニ輸入セラレ一箇年規模ノ電球カ消費セラルルヤハ不明  
 テアルカ大體ノ需要數量ハ管口水道電氣株式會社ニ於ケル供給點燈數  
 ヲ以テ推察スルコトカ出來ルカ昭和七年末ニ於ケル當地點燈數ハ約四  
 萬一千餘燈ニシテ今假ニマツダランプヲ標準トスレハ一箇年約一箇半  
 ヲ消費シ、之ニ支那品及日本品ノ相耐久力弱キ裕安品ヲ加ヘ平均一箇  
 年二箇ノ電球ヲ消費スルモノト假定スレハ當市場ニ於テハ一箇年總計  
 約八萬餘球ノ電球カ需要サレルコトニナリ、此ノ外ニ當地取扱商ノ手  
 ヲ經テ與地ニ仕向ケラルルモノカアルカ之等ヲ加算スレハ實際ノ當

地輸入數量ハ前記數字ヲ校對スルコト明テアルカ資料ナキ爲其ノ數量  
 ヲ示シ得ナイ

三 消費狀況

前項ニ於テ言及シタル如ク當地ニ於ケル電球ハ其ノ大部分カ本邦品テ  
 アルカ其ノ内如何ナル商品カ多ク需要セラルルカ、今タングステン球  
 ト瓦斯入電球ノ需要割合ヲ見ルニ水電會社ニテハ定額燈ニ對シテ普通  
 タングステン球ヲ供給シテ居リ、瓦斯入電球ハ高價ナル爲未タ一般ニ  
 普及サレズ僅ニ日本人ノ間ニ一部消費セラルル外ハ滿洲人側ニテ最近  
 弗々使用スルモノアル様ニナツタカ數量ハ極メテ微々タルモノニシテ  
 全體トシテ日滿兩側ヲ通シテ全需要ノ二割ニモ達シナイ程度テアル  
 次ニ電球ノ燭光別ニ依ル需要狀況ヲ見ルニ六〇ワツト以下ノモノ殊ニ  
 一三ワツト及二〇ワツトカ最多ク需要セラレ、ソレ以上ノ高燭電球ハ  
 日本側及特殊方面ニ需要アル以外一般滿洲人側ニハ需要皆無ト言ツテ  
 差支ナイ状態テアル

今當地水電會社カ昭和七年中ニ供給販賣シタル電球數量ヲ種類別ニ示

セハ左記ノ如クニシテ電球需要傾向ノ大體ヲ知ルニ足ル

イ、タンダステン球

一三 W	四二九四箇	四〇 W	一、四四五箇
二〇 W	四九五七、	六〇 W	二七六三、
三〇 W	一、六六三、	合計	一五、一二二、

ロ、瓦斯入電球

三〇 W 一内面燈	二七七箇	二〇〇 W	一八八箇
四〇 W 一同	三一五、	二五〇 W	四、
六〇 W 一同	四六四、	三〇〇 W	五三、
八〇 W 一同	六二、	四〇〇 W	一二、
一〇〇 W 一同	二一八、	五〇〇 W	四五、
一〇〇 W	九五五、	七五〇 W	五、
一五〇 W	一六、	合計	二六、一四、

右ハ營口水道電氣株式会社及市内ニ有スル同社代賣店ノ手ヲ經テ販賣  
サレタルモノニシテ前述シタル如ク總テ東京電氣マツダランプ及日本  
電氣マツダランプテアルカ從量制度ニヨツテ電氣ノ供給ヲ受ケルモノ  
ハ電球ノ選定自由ノ爲其ノ他ノ電球製造會社製品ヲ輸入シテ小賣スル  
モノ相當アリ殊ニ格安品ヲ以テ滿洲人側ニ市場ヲ拓キ勢ヲサスル需要ヲ  
見テ居リ其ノ數量ニ關シテハ調査ノ方法ナク不明テアルカ前述ノ營口  
ノ一箇年電球消費概數、水電會社販賣電球數ヨリ推算スル、キハ之等  
ノ他社品ノ消費數ハ水電會社取扱品ヲ遙カニ凌駕セルモノト想像セラル  
ルシテ邦商カ小賣スル本邦品ノ主ナルモノトシテ、愛國印、多力印、  
山手印、三愛印及二愛印等ニシテ何レモ日本電氣及東京電氣製品ニ比  
較シテ稍々値低廉テアル

三、取引系統

取引系統トシテハ生産業者ヨリ直接仕入レル場合ト内地ノ輸出業者ノ  
手ヲ通シテ輸入スル場合トノ二ツニ區別サレルカ當地ニ於ケル本邦品  
取扱業者ノ仕入方法ヲ見ルニ特別ナル取引契約ヲ有シ生産業者ヨリ直

6 接仕入ヲ行フモノハ少ク水電會社カ東京電氣製品ヲ東京電氣大連出張所ヨリ仕入レ、又日本電氣製品ヲ日本電氣旗願代理店ノ手ヲ經テ輸入スル外ハ一般取扱業者ハ生産業者ヨリ直接取引ヲ行フコトハナク隨時必要ニ應シテ大阪方面ノ輸出業者ノ手ヲ通シテ輸入シテ居ル、而シテ當地販賣業者ハ水電會社カ市内ニ有スル同社代賣店ヲシテ代賣セシムル外ハ總テ自ラ輸入シテ自分テ小賣スルモノニシテ卸賣ヲ營ムモノハナイ、尙内地生産業者ニシテ直接當地ニ支店又ハ出張所ヲ設ケテ販賣スルモノハナイ。

次ニ本邦品ノ輸入経路ハ輸送日數ノ關係ヨリ多クノ場合定期船ヲ利用シテ大連陸揚ケ滿鐵線ニヨリ當地ニ到着シ、海路直接當港ニ輸入セラルル場合ハ極メテ少イ。

四 取扱業者  
 當地ニ於ケル主ナル電球取扱業者ヲ示セハ左記ノ通デアル  
 4、日本側（括弧内ハ取扱品ノ商標）

商 號	所在地	商 號	所在地
營口水道電氣株式会社（マツダ印） 及マース印）	南本街	滿洲國側	
盛和公司（二葉印及三菱印）	同	廣 來 成	永世街
大連洋行（マツダ印、愛國印及タカ印）	千代田街	發 達 祥	東大街
齊屋商店（山手印）	花園街	快 飛 永	西北街
山住洋行（水電會社代賣店）	千代田街	右ノ外ニ水電會社代賣店トシテ左記カアル	
圓尾回天堂（同右）	元神廟街	林	永世街
附業商店（同右）	二本町		萬順長
			大平康裡街

興電舎 馬市街 義電舎 東大街  
 和順居 大水前官街 東順品 老幣閣街  
 成記 小紅樓街 德聚盛 二官塔街  
 東發永 通惠門街 營川公司 龍拜寺街  
 其ノ他大小七戸アリ

五價 格  
 營地ニ於ケル電球ノ小賣價格ニツキ水電會社ノ取扱フ東京電氣及日本電氣製品ノ販賣價格ヲ見ルニタングステン球ハ六〇ワット以下燭光ニ關係ナク同價段ノ一箇ニ〇錢ヲ販賣シ瓦斯入電球ハ燭光ニヨリ左記價格ヲ以テ販賣シテ居ル(單位一箇ニツキ金錢)

燭光別	小賣價格	燭光別	小賣價格
三〇 W	〇・四〇	四〇 W	〇・四〇
六〇 W	〇・四五	七五 W	〇・七〇
一〇〇 W	〇・八〇	一五〇 W	一・二〇
二〇〇 W	一・六〇	二五〇 W	二・〇〇

三〇〇 W	二・四〇	四〇〇 W	三・〇〇
五〇〇 W	四・〇〇		

其ノ他一般取扱業者ノ主ナル本邦品販賣價格ヲ見ルニ愛國電氣株式會社愛國印瓦斯入二〇 W 一六〇 W 二五錢、同一〇〇 W 六五錢、東京富士商會カ印タングステン球五 W 一五〇 W 一五錢、東京山手電氣株式會社瓦斯入二〇 W 一六〇 W 二〇錢、其ノ他三菱印及二葉印等モ其ノ相場大同小異ニシテ何レモ水道電氣會社取扱品ニ比較シテ格安品ニシテ自然耐久力モ 弱キヲ免レマイ

六 營口市場ニ於ケル本邦電球ノ將來  
 既ニ言及シタル如ク營口ニ於ケル電球ノ需要ハ現在本邦品カ市場獨占ノ狀態テアル、而シテ營市場ニ於ケル本邦品ノ將來ニ對スル見込モ亦益有望ナリト見ラレル、即チ滿洲國ノ總設ナリ舊軍閥政權ノ搾取ヨリ脱シテ今後各種産業ハ自ラ起リ引ヒテ人口ノ増加、文化ノ向上ヲ見ルコトトナリ從テ電力ノ需要ハ益増大シテ滿蒙ニ於ケル電氣事業ノ將來ハ發展日盛シキモノアリ同時ニ電球需要ノ増大ヲ來スコトハ疑ヲ入レ



ラレナイトコロテアル  
 當地ノ現狀ニツキ見ルモ市内電燈需要戸數ハ漸次増加シ歩ヲ辿リ、又  
 營口水道電氣株式會社ニテハ塘西ニ於ケル電氣事業ニ著目シ既ニ同社  
 ノ出資會社トシテ日滿合辦ヲ以テ奉山鐵路沿線綏中縣城ニ電燈會社ヲ  
 設立シ、又田庄臺ヘノ送電ヲ開始スル等著々計畫ハ實現シ尙其ノ他遼  
 西各地主要都市ニ電氣會社設立ヲ企圖準備中テアル、從テ上之地方ノ  
 電氣器具消費力ハ年ト共ニ増加ヲ見ル、明ラカニシテ而カモ之等ノ器  
 具ハ資本關係或ハ地理的關係ヨリシテ總テ本邦品カ營市場經由供給セ  
 ラルヘキモノテアル、斯ク考ヘ來ルトキ本邦電球ノ營市場ニ於ケル需  
 給ハ今後益増加シ將來刮目ニ値スルモノアリト思フ

——營口商工會議所調査——

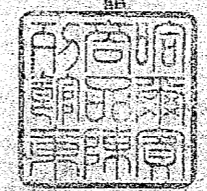
分類 E4A.0.6/1)



商工省貿易局長殿

經濟特報第十二ノ十一  
北滿に此ける電氣用品及器具

哈爾濱商品陳列館



目次

一	電球	三
二	電線	二
三	電熱器	一
四	電器器具及卓上電燈	一
五	電池	一
六	電氣モーター	一
七	電話機	一
八	電風機	一
九	電氣時計	一
〇	太陽燈及醫療器械	一
一	ラジオセツト及其部品	一
二	ネオンサイン	一
三	取業者	一

E-2082

北滿に於ける電氣用品及器具

概況

1 北滿に於ける電氣用品及器具は大正三四年頃迄は専ら獨逸製品、即ちシ  
 ーメンス會社製品が市場を獨占してゐたが歐州大戰の勃發してより日本品  
 及び米國品が南滿を經て北上するを見た。  
 其の後はシーメンス品と日本品によつて市場は二分され永らく此の均衡は  
 保たれたが近時日本内地の電氣工業の發展、及びそれに伴ふ電氣用品の改  
 良進歩は殊に滿洲事變後の好機會に乗じて輸出激増し遂に此の均衡を破る  
 に至つた。現在ではシーメンス品及び以前日獨兩品間に介在して可成り  
 の地盤を持つてゐた米國エー・ジー・イー會社製品、獨逸のワイリツツ會  
 社製品は殆んど跡を絶つたと言つて過言でなく日本品に依つて需要總額の  
 絶對過半を占められてゐる。會つては日本製品擴張の目的で獨逸品との  
 間に締結された販賣統制規約は殘骸だけ殘さのみか却つて邦品のより發展  
 にとつては極端となつてゐるのも少くない。尙以前滿人向として他家句  
 邊りで安倍に粗製されてゐた電球等の如きも日本内地（殊に大阪）の二三  
 流製造所の所謂無印製品によつて全く壓倒され地を拂ふに至つてゐる。

以下各項に於て電氣用品及び器具を各種製品別に見る。  
 一 電球

北滿の電燈、電力、電熱普及状態を「今年二月末現在」の調査からみ  
 と左記の如くなつてゐる。（特に電燈のみの調査資料なし）

需要總戸數	二一六五〇三戸
設備容量	一七二三四二八三キロワット
販賣電力	二六二二一、一二七ボルト

哈爾濱市内だけの電燈需要状況を同じ「今年二月末現在」の統計表の  
 らみると、

需要總價額	二三六三二〇圓
需要家總數	三四八五九戸
設備容量	一一、五四五、七二〇キロワット
販賣電力	一、五五九、三七四ボルト

参考に同統計表から電熱状況をみると、

需要家總數	二〇五戸
-------	------

電熱器 繼台數 五五七台  
 設備容量 五〇九キロワット  
 販賣電力 二五七一ニボルト

北滿全体の電球需要数量は適確なる数量は不明であるが大略一ヶ年八〇万個乃至一〇〇万個とされてゐるが此の内約七〇％は日本内地の無敵小規模製造所の無印安電球で専ら滿人向として輸入されてゐる。残りの三〇％が高級品で邦人及其他の外國人に需要され全体の約二〇％が「東京電氣」の高級品「マツダ」であり一〇％が「オスラム」「ファイリツプ」等の獨逸、和蘭の高級品である。

販賣価格は左記の如くである。

マツダ  
 オスラム  
 ファイリツプ  
 安電球 (一〇〇ワット以下) 二〇錢 ! 一五、六錢

3

高級品「マツダ」「オスラム」「ファイリツプ」は相互に販賣統制の協定を結んでゐる。北滿で通常使用されるものは一一五ボルト乃至一三〇ボ

ルト程度のもので哈爾濱市内の屋内用のものとしては「四〇ワット」「六〇ワット」乃至「三〇ワット」位のものである。種類は「ア」型、「Q」(瓦新入)で平均壽命は約二四〇時間とされてゐる。哈爾濱市内の滿人街他家旬邊で使用されてゐる安電球は一部の電力を無照明で喰込んでゐる趣である。

滿人及び邦人、外人の一部では今尙、電力、光度、壽命等を綜合した電球の價値に就いては殆んど理解なく従つて此が徹底には今後相當の時日を要するものと思はれる。

販賣方法は高級品類は主として内地製造会社から出張店又は代理店を通じて市内の各販賣店へ卸されてゐる。輸入税率は七五パーセントとなつてゐる。哈爾濱市内の主なる電球の出張所、代理店は左記の通りである。

「マツダ」 東京電氣出張所  
 「オスラム」 孔子洋行(クンストアリベルト)  
 「ファイリツプ」 シーメンス支店

道裡 水道街  
 道裡 中央大街  
 道裡 新市街

三 碍子

北滿で需要される碍子は殆んど總べて邦品で神戶製、京都製、大連製等が

あるが瀬戸製が多敷く名古屋製、大阪製として輸入されるものも輸の終の關係からあつて實際は瀬戸製の趣である。京都製は僅かに小鉢物としてのみ輸入されてゐる。

磚子の輸入數量に就ては正確なる數量は不明であるが電燈の普及状態から推して北滿全体で約三〇万個前後のものがあると思はれてゐる。

磚子の價格に就いては型、大小によつて夫々異つてはゐるが瀬戸物（六寸）一鉢二圓となつてゐる。

尙配電工事の際の工事費の相場は通常左記の如くなつてゐる。

磚子工事

百燈標準（スキツチ共） 一燈 五圓

パイプ工事 同 右 一燈 二四圓

パイプは以前はシーメンズ製のものであつたが現在哈爾濱電業局では物品保護の見地から専ら邦品が用ひられてゐる。即ち此の春から「三種物」（獨逸製）を禁じ「四種物」（邦品）の使用を命じてゐる。

磚子のみ内地代理店又は出張所はないが愛知、大阪その他の各府縣貿易

館の出張員を遣して市内の販賣店が内地の製造工場と取引してゐる。但し瀬戸物だけは左記の如き内地製造工場の出張店がある。尙輸入の際の税率は電球同様七五%となつてゐる。

愛知商會（加藤政谷）

道裡 地段街

三 電 線

電球も前記磚子類と同様殆んど日本内地製品で古河、住友、第一電氣、藤倉、東海、日本電線、東京製線のもの、殊に哈爾濱電業局關係内に於ては、古河、住友、藤倉製を三社物と呼んどゐる。

近時日本電線、東京製線も盛んに利用せられるやうになり前三社製品と併せて五社物と呼ばれてゐる。

北滿で最近幾許の電線が需要されたが、其の確かな數字は擧げ得ないが参考の爲めに哈爾濱電業局の本年二月末の調査に據つて電業局關係内の電線延長を見る。

配電區域

電線延長（杆）

種類

傳家句

二三三三〇〇

三種線

舊北滿電氣關係 七〇二八八九  
 舊北滿電業關係 一五七五一五四  
 合計 二五一〇三四三

一種線  
 桿單線、桿掛線

右は架空線であるが此の外に水底線として一二八七六九杆の電線（紙絶線）銅帶線、鐵裝線）がある。

尙北滿で最近一ヶ年間に需要される電線の箱は内外線併せて約五六十万圓に上ると算せられてゐる。市場價格も内線、外線によつて差違はあるが大體次の如くなつてゐる。

外線（建設費共）	一杆	一八〇—二〇〇圓
内線（建設費共）	一燈平均	五〇—
	電業局	二五
	滿人請負	二五

工事は氣候の關係から言つて夏季が容易であるやうに思はれるが材料の準備其の他の關係から一般に秋季に行かれてゐる。尙電線が輸入される際の税率は一〇%になつてゐる。参考迄に哈爾濱市内の電線取扱店の主なるものは左記の通りである。

（古河）古河出張所

道裡 斜紋四道街

（住友）日本電氣出張所

道裡 端町

藤倉  
 日本電線

大倉商事

中國十五道街

四、メートル

メートルには以前シーメンス會社のものが最も多く牢固不拔の地盤を持つてゐたが其の後邦品「マツダ」「富士電氣」「三菱」等が激増し現在の所では邦品が一〇〇%であると言つて差支へなく就中「マツダ」は斯類中の九五%を占め此の部内に於ては他品の追隨を許さない。

現在北滿に於て一年間に需要される數量に付いて的確なる數量は擧げ得ないが哈爾濱だけは一ヶ年三〇〇個と推定されてゐる。取扱店の代表的ものは次の如くである。

東京電氣出張所  
 三菱商事  
 古河

道裡 水道街  
 道裡 水道街  
 道裡 斜紋四道街

尙メートルの輸入税率は七五%になつてゐる。

五 電熱器

A、一般状況

電熱器の需要は近時漸次増大しつつあるが、未だ電熱器に對する一般の認識の爲め、需要活潑とは云れない。特に滿人は電熱器具を非常に恐れ、甚だしきは電熱器具の何たるかを解し得ぬ状態である。以前需要の範圍は電熱器に對する認識あり、且購買し得るだけの餘裕あるインテリ方面の需要者のみに止つてゐたが、現在は一般的の需要が増大しつつある。

電氣ストーブの如きは準備工事に關する手數或は經費等の爲め、種極的の購買力を阻止してゐる傾向もある。當市へ輸入されてゐるものは、日本品、獨逸品、米國品、チェッコ品等が主であつて、以前は獨逸品が顯然壓倒してゐたが、格安なる日本品の出現により、日本品の次第に落ちることを餘儀なくされた。米國品は高級品なる故一般向としての需要殆んどない。一ヶ年の需要高は約二万三千圓見當である。因に輸入税は從價二〇%である。

B、種別の相場、賣行状況

9

種類としては電氣ストーブ、アイロン、電氣コンロ、湯沸、電氣コテ等で

種別に記述すれば左の如くである。

(イ)電氣ストーブ

當地方に冬期に於ける防寒に對する設備は、ペーチカ、石炭用のストーブ等ありて、完備せる爲め、従つて電氣ストーブ等の必要を認めない。又電氣ストーブ等のみでは十分に防寒の目的を達する事が出来なく、又十分の防寒を求めるには相當の高級品にあらざれば、不可能なる故、一般的の需要は極少である。

値段は八圓一六、七十圓程度で、暖房補助用として八圓一九圓程度のものが最も需要が多い。一ヶ年に於ける需要數量は約百五十個程度である。

(ロ)アイロン

10

アイロンは電熱器具中最も賣行が多く、日、獨品が主に輸入されてゐる。以前は外國品に依つて、當市場を占めてゐたが、品質は永續性に於ては優るも、値段高價なる爲め、格安なる日本製品の爲め、壓倒されるに至つた。値段は二圓五〇錢一六圓程度で、主に三四圓程度のものが賣行良好で、其の

他營業用として八封度、十封度の大形の需要もある。一ヶ年の需要額は約六千五百圓見當である。

ハ 電氣コンロ

日、獨、米製品が輸入され、その需要も電氣アイロンに次いで多く、四〇〇ワット——一キロワット程度で、値段は二圓四〇錢——二十一圓程度であり、その中四五圓程度のものが最も賣行良好である。大形はすべて營業用方面の使用で、一般家庭向としては小形の四〇〇——五〇〇ワットが主に利用される。電力の値段は以前は一キロワットに付十三錢であつたが昨年の電力値下を見て、従來の十三錢を一キロワットに付き七錢とし、これに對し炊事用特定料金とし最低二圓と化した。故に従來電力の使用度を少くすれば、それだけ少ない料金で済ませる事が出来たが、現在は最低二圓と限定された爲め、需要者はより多く電力を使用しなければ採算取れなくなつた。尙當地方製品のアルコイルが廉價に供給されてゐる爲めアルコイルの使用も多く、又度々電氣コンロの故障等を生ずる爲め、その爲めの準備としてアルコイルコンロが必要され、又品質も優良にして格安なるため、一般的で特に満人方面にはこの種の需要が多い。故に電氣コンロの輸入を阻止してゐる状態である。

11 電氣コンロー一ヶ年の需要額は約六千圓見當である。

(二) 其の他

其の他電氣コテ(毛髪用)湯沸、アンカがあるが、あまり需要は活潑でない。電氣コテ(毛髪用)は六七圓程度で湯沸は五〇〇ワット八圓三十六錢で小形は一圓より六圓程度である。この種一ヶ年間の需要は約四千圓見當である。

滿洲電業株式會社哈爾濱電業局販賣部 道裡 新城大街  
和發商行 地段 街

六 照明器具及卓上電燈

(イ) 照明器具

當地へ輸入されてゐる照明器具は、日本、獨逸、米國製品等あつて、往時は獨逸のシーメンス會社の製品が當市場を歴してゐたが、高價で、滿人向への色模様等を考慮せざる爲め、格安にして派手なる日本製品の輸入を見てから後は需要不活潑、大勢は日本製品に向けられて、現在では遂に日本製品が外國製品を壓倒リードしてゐる。然るに照明器具が完全に宣傳せ



られ需要者側よりの積極的需要があるものと云ふと、實際は夫だ照明器具に對する一般知識は普及されず又滿人向への形、圖案、色模様等精密に研究されてゐない。滿人は小形の薄きものにて、價格の安値なるものを希望し、室内廣場用のものは特に色模様を好むが、街路用は主に圓形の無色の小形を好む。彼等は大型を一個備へ付けるよりも小形二個を有する方を望んどゐる。日本品は東京電氣株式會社製品及大阪の丸玉、阪下等の會社製品であつて、前者は品質優良なるが高級品で値段も高い。故に賣行は金額から見れば後者を後ぎ、後者は格安なるため一般向で數量の點で前者をリードしてゐる。價格は最低一圓七十錢より最高一七五圓程度で、その中五圓一十圓程度のものが賣行良好である。

需要高は本年度に入り現在迄七千圓見當、その他奥地向一千圓見當である。輸送方法は船入りが主であるが、三割程度の損害は免れ得ぬと云ふ。

(ロ) 卓上電燈

卓上電燈は日、米、獨の製品が輸入されてゐるが、日本品に壓倒されてゐる形である。滿人向きとしての色や模様としては大体適合してゐる。

値段は六十五錢一圓程度にして、二圓一五圓、十圓一十五圓程度が賣行良好である。輸入税は從價二〇%である。

滿洲電業株式會社哈爾濱電業局販賣部 道裡 新城大街

七 電池

現在市場にある電池では邦品の外に米國製の永備牌があり品質は良好であるが價格は比較的高價である。尙北滿では一ヶ年を通じて約二十二、三万圓の需要數量があると見られ懷中電燈用のものは主として哈爾濱以外の地方に多

く。哈爾濱に於ける需要數量は一ヶ月二五〇〇〇個と算せられ其の内約五〇〇〇個は一般用として二〇〇〇〇個は役所用として用ひられてゐる。概して乾電池は一般向として湯淺、岡田、朝日、日本等各品があり蓄電池は役所用として同じく湯淺、日本、神戸、古河等各品がある。代理店及出張所の主なるものは下の如くである。

三菱商事 (岡田)  
湯淺出張所 (湯淺)  
森商店 (神戸)

右の外に「松下」の製品があるが出張所代理店はない。輸入税率は一五%となつてゐる。

#### 八 電気モーター

當地輸入の電気モーターは邦品では三菱に限られ、外國製品としては獨逸の「AEG」會社製品、獨逸の「シーメンス」「ベルグマン」會社等製品其の他數種類の會社製品があるが、市場に見受るものは極少數で競争の相手にはならない。昔時は獨逸製品が優勢で當時の價格は現在の日本製品のそれに比して約五割高であつたので、一昨年當りより進出して來た裕安の日本製品の輸入により、需要殆んどなく、輸入も中止の状態にあり、現在販賣してゐるものは從來のストック品であつて、これ等を處分せんが爲め、日本製品と同價で供給してゐる。當地の電気モーターは主に井戸の汲水に利用され、値段は一馬力六五〇圓程度である。現在は三菱の獨逸台なるも、日立、芝浦等の會社製品が市場進出の機を伺つてゐる。將來は土木建築業の旺盛なるに連れて、その需要も増大するであらう。

三菱商畢哈爾濱出張所

道裡 水道街

#### 九 電話機

市内主要販賣店が供給した新機から推して全北滿へ今年になつて以來約九百台の電話機が供給されたものと推量されてゐる。此等の電話機は何づれも日本内地の日本電気、沖電気と獨逸のシーメンス會社製品であるが、概して本邦製品は日本人にシーメンス製品は滿人方面に多量に供給されてゐる。價格の低廉なことから逐年邦品は獨逸品を壓倒しつゝあり現在の所約八〇%迄は邦品であると見られる。

北滿には哈爾濱以外にも電話局を有つてゐる所は約五十ヶ所程あるが此の外に縣公署で一般の便宜を圖り官用の電話を開放してゐる地方も二三ある。尙哈爾濱だけで現在需要されてゐる情況をみると左記の如くである。

#### 1) 電話局關係

自動式が専ら用ひられ此には「ストレングヤー」と「シーメンス」品があるが前者は四〇〇回線で主として南滿で使用され後者は一五〇〇回線で傳家向で使用されてゐる。

#### 2) 私設關係

此には自動式、共電式、磁尺式の三者があるが自動式の主なるものは  
国際連輸(シーメンス品) 五〇回線  
電業局(日本電気品) 五〇回線  
共電式のもの

北満ホテル  
亞細亞ホテル  
ナシヨナルホテル  
で合計五〇回線である。  
磁尺式のものは一〇回線ある。  
(2) 鐵路總局關係  
此れには次の五者があるが数量は不明である。

- 三棟樹
- ヤグノフ、ビル
- 小澤公館
- 錦路總局
- 哈爾濱工廠

市場価格は左に代表的のもの二種を擧げてみると、

邦品(東京電気) 三六一七圓 四七一八圓

歐品(シーメンス) 六〇圓見當

輸入税率は一・五%である。  
以上の如くであるが電話機の最近の情況及傾向として左記の點が擧げられる。

- (イ) 電話機の需要は逐年増加してゐるが哈爾濱市内のものは既存のもの、補充程度に止り新規備付は少い。
- (ロ) 地方では壁掛用が卓上に比して遂に多量使用されてゐる。
- (ハ) 交換台では共電式が自動式に變化しつつある。
- (ニ) 小ホテルでは共電式が比較的増加してゐる。
- (ホ) 富錦縣公署に最近共電式小型品が納められる趣である。

以上の如くで次に電話機の主なる代理店出張所を擧げると、  
大倉商事(沖) 道裡 中區十五道街  
三菱商事(東亞) 道裡 水道街  
シーメンス 道裡及新市街

10. 扇風機

大降的氣候なる故必然夏期は扇風機の必要を餘儀なくされてゐる。種類は天上線用の扇風機は主に滿人飯館方面、カフェー、ダンスホール等の需要多く、一ヶ年に六〇台見當の賣行があると云ふ。外國製も殆んどなく、日本製品は三菱、川北、芝浦等の諸會社製品が主で、値段は百圓―百二十五圓程度である。卓上線用の扇風機は、料理屋、飲食店方面及一般家庭向として需要多く、値段は十二寸もの二十九圓―三十三圓、十六寸もの四十二圓程度である。製品は三菱、日立、富士電氣等の會社製品で、一ヶ年の賣行數量は二百台見當である。

滿洲電業株式會社哈爾濱電業局販賣部

道裡 新城大街

### 一、電氣時計

電氣時計は殆んど日本製品のみで、東京電氣株式會社製品が主であつて、価格は三圓―四十圓程度である、昨年一ヶ年の賣上高は約二百個見當で、主に諸官廳、會社等に利用されてゐる。需要者側は主に邦人である。

滿洲電業株式會社哈爾濱電業局販賣部

道裡 新城大街

### 一、太陽燈及發源器械

當地へ輸入されてゐる製品は主に獨逸、日本、米國製品で、獨逸品は古來當地に於ける電氣醫療器械の獨舞台をなして來たが、現在は日本製品の進出により、積極的の輸入なく、殆んど以前のストック品である。

然るに賣行方面を見るに獨逸品はすべて高級品なる故、品質も良く、露人方面の需要多く、日本製品と五分／＼の競争をなしてゐたが、北滿接收後露人の減少、或は一般購買力の低下に依つて現在に唯一の露人需要方面を失ふに至つて、裏微を辿つてゐる。

露人が如何なる理由にて日本製品を需要しないかと云ふと、即ち化學機械に對しては、東洋の製品は西洋のそれに比して劣ると云ふ一般的の古い觀念を持ち、未だ日本製品を疑つてゐる状態で、只説明だけでは十分の了解を得るのに困難で、實驗迄に及んで始めてうなづく状態である。太陽燈の値段は外國品二百八十圓―千三百圓程度で、日本品は七八十圓―五百圓程度である。太陽燈の商標は獨逸品の「ハナフ」日本品の「ギバ」「アクメ」等で、一ヶ年の賣行數量は約三〇台見當である。

レントゲンも最近日本製品の輸入を見て、現在當市に一七台位あつて、一ヶ

年の賣行數量は四台位のものである。  
その他「デアテルミ」は値段四五百圓程度で、現在當市に三四台ある。  
その他アンマ器掛は五圓一六圓、吸入器は八圓一十圓程度で、オゾン發生器は三十圓程度である。これ等の一ヶ年間に於ける需要數量は約二百個見當、尙齒科器械の電氣エンジン、診療用レントゲン等も有望で輸入税は従價二〇%である。

永喜洋行  
滿洲電業株式會社哈爾濱電業局販賣部

道裡 工廠街  
道裡 新城大街

一三、ラジオセツト及其部分品  
イ、一般狀況

21. 當市の哈爾濱放送局は、昭和二年十二月に創立されて、數年前はその規模小さく、内容も幼稚であつたが、滿洲國獨立以來、國內諸事業が統制せられるに従つて、電信、電話事業も昭和八年に統制を見、滿洲電信電話株式會社と稱し、電信電話界の劃期的一大躍進を見るに至つた。放送距離も現在三キロを擴張され、規模、内容方面も刷新せられて、從來不平を抱いてゐた聴取者側の不滿の四個所に充水することが出來た。現在聴取者は、登録せるもの

が哈爾濱管内に於て、聽人六三七名、昨年度の四六〇名に比し一七七名の増加、邦人六一九名、昨年度三六〇名に比し二五九名の増加、露人六八八名、昨年度の六一三名に比し七五名の増加である。

露人方面の聴取者が他國人に比し増加率の少ないのは即ち四月七日第一回北緯従業員のソ聯邦本國引上以來、聴取登録を取消すもの多數あつた故で、多き時は一日に十數軒あつたと云ふ。

現在登録せる實際聴取者数は合計一六一六名で、無登録による實際推定聴取者数はその倍數に當ると云ふ。

ロ、セツト及其部分品

22. 專變前はフランスの「パリー」會社製品が當市で委託販賣されてゐたが、專變直後の國內の混沌たる政情、又世界恐慌による當市場の紛亂等に原因し、聴取側の氣崩に採算取れず、漸次市場より姿を消すに至つた。當時「滿電氣」が米國「ジャクソンベル」會社製品を盛んに宣傳して、他の會社と合併して「ベルエア」會社と改稱し、同名のベルエア、セツトの販賣に従事した。其の他外國製品としては米國の「アル・シ・エ・ヴィクター」會社製品が昭和七年頃より現はれ、「ベルエア」と相並び競争をなした。

現在は兩者とも日本製品の競争の出現に依り、著しく需要を減じ、本邦製品に壓倒されてゐる状態である。「ダイクタイ」の總販賣店として「秋林洋行」が取扱ひ、昨年創立せられた「滿洲ラヂオ普及株式會社」が總販賣所として販賣せられてゐる。値段は四球セット六十五圓、八球セット五百圓程である。

その他ピータパン、エコホン、フランススイカ等の各國製品があるが、これは殆んど賣行不良で、皆ストック品である。

日本品では「ヘルメス」、「ナショナル」、「シャープダイナ」、「七歐」其の他の會社があるが、最も賣行良好なものは「ヘルメス」、「ナショナル」、「七歐」等である。

ハ、相場及賣行狀況

國內の治安が確立され、又ラヂオに對する宣傳等に奮力した結果その需要は次第に増加し、數年前に比し約五倍の増加をなしてゐる。需要方面を見るに邦人五五%、滿人三五%、露人一〇%の割合である。

露人方面の需要が停滯状態にあり、反つて減少しつつあるは即購買し得るものはずべて需要が飽和状態に達し、他は殆んど購買力を乏しきものである。

それと露人のブルジョアをなしてゐた北滿從業員を失つた事に依る。邦人は主に高級品を需要するが、滿人は主に下級品を需要する。

賣行良好なものは、四五、六球の球式セットであり、鍍金セットの需要は少敷である。

因に値段は左の如くである

四球セット	四五〇〇圓	前後	八〇〇〇圓
五球セット	一〇〇〇圓	前後	一五〇〇圓 (一本に付き)
眞空管	一〇〇〇圓	前後	四五〇圓
受話器	一〇〇〇圓	前後	二〇〇〇圓
擴音器	五〇〇圓	前後	八錢 (一個に付き)
玉子	一〇〇圓	前後	
著電池	一四〇〇圓	前後	

ニ、取扱店

- 滿洲電業株式會社 哈爾濱電業局
- 滿洲ラヂオ普及株式會社
- 和發商行 (邦商)
- 松岡洋行 (邦商)
- シーメンス (外商)
- 道裡 新坡大街
- 石頭道街
- 地役街
- 田街
- 南崗 新市街

チューリン (外商)  
アレキサンダー (外商小賣)  
テガ (外商小賣)

南園 大南街、義州街角  
道裡 斜紋街

一四 ネオンサイン

一 一般状況

專變後ネオンサイン金盞の波に乗つて、北滿にも現はれ、北滿照明界に一大異彩を放つに至つた。その需要高は確實な所は判明しないが昨年一月から本年の需要全盛期にかけて邦商松岡ネオン店の取扱高八萬五千圓で、露人經營のネオンライトが三萬圓見當、ネオンチューブが約一萬圓見當で合計一二萬五千圓見當であると云はれてゐる。

哈爾濱市に初めてネオンサインの出現を見たのは四年前であつて、石頭道街居住の村岡呉服店が内地から持つて來たから始まり、當時日露實業公司でも少々取扱つて居たが昭和八年の初め、當市の砲險街に露人經營のネオンチューブが、北滿に於ける最初のネオンサインの本格的取扱業者として現はれた。當時は國內第一の大都會哈爾濱市も、夜になると照明界の不發達に依り、薄暗く不愉快な市街として寂寞を感じせしめてゐたが、專變

後邦人増加にカフエー、飲食店、其他各商店等の新規開業の出現を見て、是等諸營業に必備品たるネオンサインは、自然當市に於ける照明界の寵兒として歡迎され、獨舞台のネオンチューブは、ネオン管一尺に付き三圓の高値に供給してゐた。余りの高値に需要者側も積極的需要がなくして、北滿ネオンサイン照明界の發達に一沫の暗翳を投げてゐた。

この時當市の電氣器具取扱業者の邦商松岡洋行が現はれて、夙に北滿ネオンサイン照明界が外國人に奪はれつゝあるのと、又價格高値による弊害より、北滿照明界發達の阻止を恐れ、從來のネオン管一尺に付き三圓なるを、一舉に一圓の値下をもつて一尺に付き二圓とした。格安なるネオンサイン取扱業者の出現を希望してゐた需要者側は、松岡ネオンサインの出現によつて俄然需要激増し一方供給者側の競争も激甚となりネオンチューブも一尺二圓に値下しなければならなかつた。所がこの頃同じく露人經營のネオンライトの新開業を見て、松岡ネオン店、ネオンチューブに對抗しネオン管一尺に付き一圓五十錢として、こゝで猛烈な三商店の競争を見るに至つた。この頃より滿人は、彼等の色、模様を好む國民性から青、赤の彩色のネオンサインに、早くから傾いてゐたので、

一時の値下に露人方面にまで需要を喚起するに至つた。  
其後三商店の競争益々激烈を加へ、遂に一圓四十錢を以て協定値段とし  
たが、それさへ破れて一圓まで低下するに至つた。本年度に入り將に  
北滿に於けるネオンサインの全盛期に入り、暗黒の街は一躍にして彩光  
絢爛の街と化し、北滿の文化はネオンサインに依り、直感的に偉大なる  
進歩をなしてゐることが認められる様になつたが、ネオンチューブは遂  
に競争に敗れ、五月の中旬閉店の止むなきに至り、又ネオンライトも氣  
息奄々たる状態である。

### 三 露人經營者側不振の原因

ネオンサイン全盛の波に乗つて、北滿市場に於けるネオンサインの急  
速の需要増加は、營業者をして、充分の準備、計畫を不可能ならしめ、  
従つてネオン製作に於いても、優秀なる技術者を得る事が出来なかつた。  
露人取扱業者は、先づネオンサインの主要品たるガラス管を製造より輸  
入を迎いだ。獨逸ガラス製品は、日本製品に比して劣り、従つて市場に  
出たネオンサインは永久性なく、又技術拙くして自然に信用を失するに

至つた。宣傳外交員は、彼等の給料は注文取高に隨ひ配給されてゐたの  
で、自然自利に走り、注文するときに當つては、値段を安値に主張し、  
需要者側を欺き、従つて取付後ネオン商店側よりの請求と一貫せず、し  
ば／＼需要者側と紛争を惹起して、信用を失し、又回収不能等のため漸  
次不振を續けらる頃、同業者邦商松岡ネオン店の出現を見た。松岡ネオ  
ン店は、資本金一萬圓にて製作所を店內に設け、東京より優秀なる技術  
者を招き、安價に供給し、品質良好の日本製ガラス管を輸入し、技術、  
永久性に於ては斷然露人同業者を抑さへた。又ネオンサインの如く一  
時的の需要のものは、ネオンサイン専門の取扱は不可能であつて、一時  
需要が飽和状態になると、閉店の止むなきに至らざるを得ない、故にこ  
の等露人取扱業者は、ネオンサインのみの取扱業者であつた爲め、遂に  
閉店の道程を辿るに至つたのである。

### 三 奥地向需要状況

ネオンサインも事變後急激の邦人増加を見つゝある奥地都市へ亦々移  
出されつゝあるが齊々哈爾約一萬圓、海拉爾約五千圓、北安約一千六



百圓見當の需要があつたと云はれてゐる。尙牡丹江は電氣會社側の許可がないため未だ需要がないが、將來許可あれば、相當の需要あるだらう。又大黒河も有望視されてゐる。

四 ネオンサインの將來其他

ネオンサインの如く一時的の需要のものは將來に於ける期待はあまりに望まれないが、然し資本家進出の現在に於いてはまだ前途あり、現在當市の飲食店、カフェー、商店で需要済みのものは三〇%にして五〇%は需要圏外にあり、残りの後二〇%が見込めるものと云はれてゐる。此外近時新發明の流動式ネオンサインの出現により、從來のものは次第に取除かれ、この式のネオンサインの需給が増大するであらう。奉天、新京、齊々哈爾濱等は邦商の同業者が競争してゐるが、何故に當市では松岡ネオン店のみで、邦商の競争者がないかは即ち當市の協定相場上りも四拾錢安く、一圓の安値に供給してゐるからである。

新京にてはネオンサインの原動力たるトランス（變壓器）は小賣一個三十五圓なるに對し、當市では三十圓、ネオン管一尺に行き新京で一圓二

十錢が當市では一圓でデビュイしてゐる。

斯の如く、安値に供給し、又極世の地盤を有してゐる爲め、同業者の新出現を見ても、競争に到底對抗して行く事が出来なからであると言はれてゐる。

一五 取扱業者

當市に於ける主なる電氣機械器具取扱業者を擧ぐれば左の如くである。

滿洲電業株式會社	哈爾濱電業局	販賣部	道裡	新城大街
東京電氣株式會社	哈爾濱出張所		水道街	
大島電氣會社			石頭道街	
和答商行			地盤街	
松岡洋行			田地街	
陸商會			斜紋街	
古河電氣工業出張所			四道街	
大倉商專			中園十五道街	
三菱商專			水道街	
湯淺蓄電池			六道街	
朝日蓄電池				

滿人側

利達  
東茂  
裕昌源  
東昇利

露人及外商側

シ  
イ  
メ  
ン  
ス  
（本店）  
（支店）  
（支店）  
秋林洋行  
（本店）  
（支店）  
ク  
ン  
ス  
ト  
、  
ア  
ル  
ペ  
ル  
ス

昭和十年八月

道裡

道外

石頭道街  
十二道街  
桃花巷  
正陽街

南崗

道裡

新市街  
中央大街  
大直街、義州街角  
南崗  
道裡  
中央大街

小池和一  
岸良辰巳  
共同調査